



TITLE:

表紙、扉、目次など

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙、扉、目次など. 学びの海への船出 : 探究活動の輝きに向けて.  
Launch out into the ocean of learning! 2015

ISSUE DATE:

2015-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/225058>

RIGHT:

大野照文〔監修〕

蒲生諒太〔編著〕

# 学びの海への船出——探究活動の輝きに向けて

寺脇研・荒瀬克己・川上紳一・飯澤功・

板倉聖宣・市川光太郎・大野照文〔講演〕

## 京都大学総合博物館 二〇一四年度特別展

「学びの海への船出～探究活動の輝きに向けて～」

主催：京都大学総合博物館

共催：京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都大学フィールド科学教育研究センター

協力：京都市立第四錦林小学校、松川町立松川東小学校、岡山県立倉敷天城中学校、福知山市立夜久野中学校、京都市日吉ヶ丘高等学校、京都市立紫野高等学校、京都府立海洋高等学校、京都府立福知山高等学校、奈良県立青翔高等学校、平成 26 年度瀬戸内海的环境を考える高校生フォーラム（兵庫県立尼崎小田高等学校、大阪市立東高等学校、兵庫県立六甲アイランド高等学校、兵庫県立神戸商業高等学校、山陽女子中学校・高等学校、安田女子中学・高等学校、広島県立広島国泰寺高等学校）（順不同）

船の科学館・海と船の博物館ネットワーク

本書のもととなりました上記展覧会は日本財団の助成を受けた船の科学館・海と船の博物館ネットワークよりの支援対象事業として実現しました。記して謝意を表します。

はじめに 1

「知識」と「経験」へ——行きつ戻りつ、日本の教育 16

第一部 探究活動の「モデル」を探して——講演録

講演「二十一世紀の教育、そして二十二世紀へ」(寺脇研 京都造形芸術大学教授) 27

三十年の、後で——「生涯学習ファーム」構築に向けて 78

講演「SWIM—『探究』は遠泳法か—」(荒瀬克己 大谷大学教授／京都市立堀川高等学校元校長) 85

「二歳児の好奇心」を取り戻せ！ 118

講演「生涯学習時代における探究学習の創造——地球惑星科学からのアプローチ——」

(川上紳一 岐阜大学教授) 126

あのとき、先輩は「幸せに研究してるかい」と尋ねた 160

講演「学校で探究活動をすすめる意義とは？——学びの海の自律航法——」

(飯澤功 京都市立堀川高等学校教諭) 166

ドーナツ屋で語り明かした青年の、探究的な人生 201

講演「板倉聖宣、『仮説』を語る」(板倉聖宣 仮説実験授業研究会代表) 208

ただ一人の教育学者に「生き方」を訊く 242

総合考察 259

## 第二部 探究活動をみる「観点」——事例集

### 展示事例 279

松川町立松川東小学校／岡山県立倉敷天城中学校／奈良県立青翔高等学校／  
京都府立福知山高等学校／京都市立日吉ヶ丘高等学校／京都市立第四錦林小学校

### 「私たちの探究」 315

静岡北中学校・高等学校／京都光華高等学校／香川県立観音寺第一高等学校／  
岐阜県立大垣北高等学校／大阪府立茨田高等学校／大阪府立住吉高等学校

### 総合考察 331

## 第三部 「海」の探究活動——事例とプログラム開発

大学における海の探究活動（市川光太郎 京都大学フィールド科学研究センター特定研究員）

講演「ジュゴンの上手なつかまえ方」 345

研究者、探究する ジュゴン研究を例に 360

### 展示事例 378

京都府立海洋高等学校／福知山市立夜久野中学校／兵庫県立尼崎小田高等学校他

### 博物館の学び 394

京都大学子ども博物館／京都市立紫野高等学校／京都大学総合博物館

### 海の探究開発「博物館のコレクションで授業を作ろう」

講演「コミュニケーションが拓く未来の学び」（大野照文 京都大学総合博物館館長） 409

京都大学総合博物館×京都市立紫野高等学校「琉球進貢屏風」教材開発ワークショップ 420

【監修】大野照文

京都大学理学部卒業後、ドイツのボン大学で博士号を取得。帰国後、京都大学理学部に戻り、1997年に京都大学総合博物館に移ってからは、“物から入る学びの楽しみ”を導入した体験学習プログラムの開発に取り組んでいる。「週末子ども博物館」や小・中・高等学校への「出前授業」を通じて、子どもたちに、本物に触れる感動を伝えている。2009年には館長に就任。専門は、層位学、古生物学。先カンブリア時代から古生代にかけての爆発的な生物進化(カンブリア爆発)の研究。

【編著】蒲生諒太

京都大学総合博物館オフィスアシスタント。「学びの海への船出」展担当。立命館大学文学部、京都大学大学院教育学研究科修士課程を経て現在、同大学大学院博士後期課程に在籍。京都市内の高校で現場の先生とともに「総合的な学習の時間」のプログラムを開発している。

## 学びの海への船出 ―探究活動の輝きに向けて

監修 大野照文

編著 蒲生諒太

講演 寺脇研・荒瀬克己・川上紳一・飯澤功

板倉聖宣・市川光太郎・大野照文

初版発行 2015年3月31日

---

発行所 京都大学総合博物館

〒606-8501 京都府京都市左京区吉田本町

印刷 冊子印刷通販の KYOYU

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 332-6

Printed in Japan.